徳之島町井之川夏目踊り

【所　在　地】大島郡徳之島町井之川（井之川夏目おどり保存会）
【種　　別】県指定無形民俗文化財
【指定年月日】平成 13 年４月 27 日

「浜下り」と「夏目踊り」は，旧暦の盆（７月 15 日）のあとの戊（つちのえ）の日に行われる。

浜下りが終了すると，人々はいったん家に帰り，再び所定の場所に集まって各戸訪問の夏目踊りを開始する。現在は、踊りのグループが３つに分かれ，集落中の家々を一軒も欠かさず踊っていく。踊りの曲種は 13 曲ほどあるが，一戸で踊るのは１曲ないし２曲である。全て踊り終えるのは，朝の太陽が昇ってしばらくしてからのことである。

古くは日数をかけて行われた。なお，この行事には地域住民だけでなく，相当数の出郷者も帰省し参加する。

特徴は，踊りの集団が集落中の各戸をくまなく回って踊るという，いわば訪問祝福型の踊りであること。また踊り手は，全て歌い手であり男性集団と女性集団の掛け合い（歌問答）によって踊りが展開されること。なお太鼓（テク）の打ち手も、男性の踊り手のいく人かが担当するもので，歌と踊りと楽器は完全に三位一体の関係にあること等であり，いずれもわが国の最も古い芸能の形態を留めている。